



大洲市

No.147 2017年 4月号

社協だより

編集 / 発行 社会福祉法人 大洲市社会福祉協議会
〒795-0064 大洲市東大洲 270-1

TEL 0893-23-0313
FAX 0893-23-0295

ホームページ <http://www.ozushakyo.jp>
大洲市社協 検索

共同募金 実績報告

あたたかいご協力
ありがとうございました！

共同募金実績額

13,091,146円



平成 28 年度 共同募金種別実績表 (単位：円)								
地区名	戸別募金 募金額	法人募金 募金額	学校募金 募金額	街頭募金 募金額	職域募金 募金額	イベント募金 募金額	その他の募金 募金額	募金額合計 募金額
肱南	560,350	160,600	0	0	0	0	106,000	826,950
久米	371,910	116,000	0	0	0	7,892	120,000	615,802
肱北	296,260	96,000	0	1,200	0	0	232,000	625,460
喜多	753,610	415,337	0	0	0	0	262,000	1,430,947
平	367,700	343,000	0	0	0	0	34,000	744,700
平野	293,535	136,000	6,719	0	0	0	94,000	530,254
南久米	196,500	46,000	0	0	0	0	132,000	374,500
菅田	496,000	384,340	9,209	0	0	0	120,000	1,009,549
大川	146,500	15,000	0	0	0	0	152,000	313,500
柳沢	186,000	0	0	0	0	0	0	186,000
新谷	591,600	114,000	23,724	23,717	0	155,059	159,076	1,067,176
三善	143,000	72,826	2,348	0	0	0	144,000	362,174
八多喜	274,500	66,400	6,768	0	0	0	352,500	700,168
上須戒	86,000	19,000	0	0	0	0	49,000	154,000
長浜	1,005,850	321,000	28,217	23,207	82,002	1,500	646,723	2,108,499
肱川	358,970	97,000	21,672	10,293	84,232	0	244,958	817,125
河辺	148,500	113,000	5,305	0	49,500	31,700	200,819	548,824
事務局	0	20,593	80,343	174,469	293,131	34,650	72,332	675,518
計	6,276,785	2,536,096	184,305	232,886	508,865	230,801	3,121,408	13,091,146

平成28年度実績内容については、「社協だより特集号」で詳しく掲載いたします。

平成28年度 ①②③ 支援研修会

（共同募金「地域から孤立をなくそう」特別配分事業）

2月17日（金）、大洲市総合福祉センターにおいて、大洲市くらしの相談支援センター①②支援研修会を開催しました。今年度は、「だれもが共に暮らせる豊かな地域をめざして」だれもが必要とされ、助け合えるつながりを『をテーマとして、地域の福祉・ボランティア関係者、生活困窮者自立支援制度（※1）に関心のある方等を対象に行いました。

平成27年度から、経済的な困窮に限らず、何らかの生活のしづらさを抱えている方の相談支援を行うため生活困窮者自立支援制度（以下、同制度）が法律化されています。

相談者のなかには、経済的には困っていないが、就労を継続することが難しい。子どものことで悩んでいる。保証人がいないため、住居の確保が難しい。など、様々な生活課題を抱えられている方がみられます。

大洲市においても同様の相談もあり、また、全体の3割は住民税非課税世帯であり、ちよつとしたことで経済的に困窮する可能性が考えられます。

そこで今回は、釧路市において生活困窮者自立支援制度のモデル事業を全国で先駆けて取り組み、同制度の厚生労働省特別部会委員も勤められている、一般社団法人釧路社会的企業創造協議会（以下、協議会）櫛部武俊（くしべたけとし）副代表に、釧



講師 櫛部武俊先生

路市での様々な実践を通して、同制度が目指す地域づくりの視点・支援のあり方についてご講演いただきました。

先生は、23年間釧路市の生活保護行政に携わり、平成16年には、母子世帯を対象にした生活保護自立支援『釧路モデル』（※2）作成をけん引されました。

その取り組みのなかで、ある生活保護受給者の女性が、ホームヘルパー派遣世帯にヘルパーと同行し、利用者の話し相手になることで、特別な技術や資格が無くても利用者から、「来てくれてありがとう。」と言葉をかけられ、第三者から自分が必要とされているという経験により、「今まで人にほめられたことがなく、うれしかった。」等、自尊心・有用感が高まり、就労や自立に対する意欲の向上が図れたという事例がありました。これをきっかけに、地域の方や関係機関等と協働してプログラムを開発・展開されるようになりました。

また、協議会設立後も、生活困窮者の働く場づくり、支援される側が支援する側にまわる仕組みづくりに取り組まれ、就労移行型インターン

シップ事業、そして就労準備支援モデル事業を釧路市から受託し、展開されています。

一つの事例として、釧路市の基幹産業である漁業が、高齢化・人口減少に伴い、担い手の減少が危惧されており、そのなかでも、特に漁網の整備（整網）作業を行う人材がいらないという現状がありました。そこに中間的就労（※3）という形で、これまで一般就労が難しい方や就労経験がない方に対して、就労体験・自立へのきっかけとして、整網作業で収入を増やすという取り組みをされています。つまり、担い手のないところを支えるという仕組みをつくることで、地域で支えられていた人が支える側にまわる仕組みです。

その他にも、就労準備支援では、①内職作業（箱折りや運動用具製作、ごみ袋の袋詰めなど）、②企業の見学・体験、③短時間就労（農園の手伝いや観光客の入店数調べ、水産業の箱洗いなど）、そして、④一般就労へと、相談者の状況に応じた働く場づくりを支援されています。

就労支援を考えるうえで大切なことは、企業や団体、法人の困りごとをしつかり聴き、相談者の困りごとと可能性をいかにマッチングさせ両者の関係を構築していくかということです。

そして、釧路市では、地域づくりを考える顔の見える関係でのつながりを持つということとで会議を開催し、民生児童委員協議会会長、企業、塾講師、消防署長、基幹相談センター、



当日は市内を中心に206名の参加をいただきました

趣旨説明

最後に記念撮影をしました

看護学校の先生等、様々な機関・立場の方が集まっています。会議を通じて、①人の話は聴いてみないとわからない。②手をつなぐ相手を責めてはいけません。お互いの良い所を知る。③異業種で何かをやってみよう。ということが重要だとわかりました。そういったなかで、地域で支え合って暮らす仕組みづくりとしてでき上がった、『地域食堂』。これは、対象を限定せず若男女が、季節の食材を使った料理と一緒に食べ、交流を図るひとつの取り組みです。参加者は、小学生から高齢者まで様々であり、そこで出た住民の話題・様子から、地域課題を発見することを目指す

まごころのおくりもの 1月分

金銭の部（一般分）

大洲地域労働者福祉協議会 様
八幡浜市

（指定分）

《平野地区社協へ》

稲田 閑子 様 平野町

《南久米地区社協へ》

大洲南中学校北只地区 PTA 様
北 只

《大川保健福祉協議会へ》

松本 尚徳 様 宇和川
丸山 壽 様 市 木

《三善地区社協へ》

後藤 雅太郎 様 春 賀
窪田 亀一 様 春 賀

《上須戒地区社協へ》

長田 実生 様 上須戒

《長浜地区社協へ》

岡 則行 様 白 滝

《肱川地区社協へ》

沖野 恒三 様 肱川町

《特別養護老人ホーム

かわかみ荘様へ》
草莽の一蛭 様 大洲市

あたたかい善意をありがとうございました。感謝をこめて掲載させていただきます。ご芳志につきましては、各地区社協や市社協等において、高齢者や障がい者等の在宅福祉、ボランティア活動など福祉活動の財源として、活用させていただいております。

ありがとう！「湯ったり号」

平成15年2月、24時間テレビより寄贈された訪問入浴専用車「湯ったり号」。平成29年2月16日をもって引退しました。寄贈以来、車に浴槽を積んで入浴が困難な方の自宅まで通い、ゆったり気持ちよく入浴していただくお手伝いをしてきました。

14年間、お疲れ様でした。



にしています。大洲市社協においても今後の困窮者支援を考える上で、大変意義深いお話しでした。同制度では、制度の網目からだれも抜け落ちたり、孤立する事がないように、人を支援していくことを目指し、相談者の状況に応じたオーダーメイドの寄り添い型の支援を大事にしています。本研修会の開催を契機に、今後、地域福祉の充実・推進を図るなかで、地域の事は地域の方が一番知っているとの考え方に立ち、地域住民や民生児童委員、市役所や保健師・包括支援センターなど各関係機関がつながり、一人ひとりに伝える力を強められるように。そして、大洲のくらしと仕事がどうなっているのかを見つめなおし、産業・福祉など、お互いの顔が見える関係性のなかで、互いに支え合っていくことができる。「困って

いる、助けて」と言いやすい敷居の低いまちづくりを目指し、「我が事丸ごと」で大洲らしい産業・くらし・支援の輪をつくっていききたいと考える研修会になりました。



※1 経済的困難や社会的困難で生活に困りごとや不安を抱えながら、今まで相談する場を持てずに来た人に対して、相談窓口を設け、生活全般の相談に乗り、適切な支援のアプローチを行う制度です。

※2 釧路モデルでの釧路市の取り組みは、就労困難な生活保護受給者を対象に、本人のステージに応じた多様な自立支援プログラム（無償）を行うものです。

※3 中間的就労とは、すぐに一般就労することが困難な人を対象に、就労体験（非雇用型）や、支援付き就労（支援付雇用型）を提供するものです。それぞれの能力や適性、状況に応じて作成した個別的就労支援プログラムに基づき、一般就労に向けた支援を中・長期で実施します。

平成28年度 全国社会福祉協議会会長表彰 受賞おめでとございます！

平成28年11月11日（金）、メルパルクホール（東京都港区）にて開催された「平成28年度全国社会福祉大会」（主催：厚生労働省、全国社会福祉協議会、中央共同募金会）において、社会福祉協議会・民間社会福祉団体功労表彰の三好康子さん（北只）、永年勤続功労表彰の鋸本温子さん（宇和町・大洲乳児保育所勤務）の2名の方が受賞されました。

受賞に伴い平成29年2月16日（木）、大洲市総合福祉センターにおいて、表彰状伝達式が執り行われました。この表彰は、社会福祉事業の各分野において、永年活動され功績が顕著であると認められる個人や団体に贈られるものです。

心よりお祝い申し上げます。



三好康子さん 鋸本温子さん



「ふれあいカヌー」・「ハンドマッサージ」参加者募集中

カヌーや各種レクリエーションで楽しく体を動かし、ハンドマッサージでリラックス。親睦を深めながら「シンク・タンク」の活動を知ることができます。



主催 全日本レクリエーションクラブ「シンク・タンク」
会場 国立大洲青少年交流の家、肱川
期 日 平成 29 年 5 月 1 日(月) 12 時 30 分集合～
 5 月 2 日(火) 14 時解散(1泊2日)

募集人数 15 名
募集対象 「シンク・タンク」の行事に興味・関心のある方
 どなたでも

参加費 1 人 3,500 円(保険料他諸経費含む)
申込方法 はがき又は電話・FAX にて名前、住所、郵便番号、年齢、
 電話番号を明記の上、右記までお申し込みください。

申込締切 4 月 24 日(月)必着
 ※天候によってはカヌーができないことがあります。

＜お申し込み・お問い合わせ先＞
 全日本レクリエーションクラブ
 「シンク・タンク」事務局 中居 敏子
 〒795-0063
 大洲市田口甲 2279-2
 電話(FAX 兼)0893-23-4126

俳句いろいろ

幸せの時毎日の日向ぼこ

紀伊野 武子

評 豊かな冬の日差しを楽しむ時、
 身も心も幸せです。

焼いもや心身ほぐれゆきたるよ

鶴岡 エリ子

評 壺焼いも、石焼いも、ほっこり
 とあたたかく、なつかしさがひ
 ろがります。

日向ぼこおとなりさんの居なくなる

中野 イツミ

評 一緒に日向ぼっこしていた人が
 居なくなった。意味深くも考え
 られる句。

山茶花の頃の我が家のなつかしく

中村 万里子

評 秋から冬にかけて、白、薄紅、濃
 紅の花を咲かせます。生家の山
 茶花の頃をなつかしむ作者です。

みかん箱開けたり流れくる香り

堀辺 イスミ

評 送られてきたみかん箱開けたと
 ともに、いい香りが流れました。
 一瞬を切りとった句。

年つまる多忙な中に楽しみも

堀江 未子

評 かつて商家の暮らしの作者、年
 末の忙しさにも家族全員心ひと
 つの日をなつかしむのです。

※以上6句は、龍星俳句クラブ
 よりいただきました

労いの言の葉あふる初便り

佐野 満寛

評 届いた初便りはいたわる言葉が
 あふれていました。お子さんか
 らの便りでしょうか。

初暦夫婦の予定書き記す

佐野 幸子

評 農事とか、夫婦それぞれの予定
 などそれぞれ一年の計は元旦に
 あります。



お問い合わせは

大洲市社会福祉協議会

地域福祉係まで

☎ 23-00313
 ☎ 23-00295

心 配 ご と 相 談 所 案 内

大洲市社会福祉協議会 (本所)	【一般相談】毎週月・水曜日 【介護相談】毎週金曜日 【弁護士法律相談※要電話予約】毎月第1・3火曜日(4月4日と18日) 【司法書士等法律相談】毎月第2・4・5火曜日および毎週木曜日 大洲市総合福祉センター 午前10時～午後4時(弁護士法律相談は正午まで)※祝日を除く	
	長 浜 支 所	4月28日(金) 大洲市長浜体育館 午後1時～午後4時
	肱 川 支 所	4月 5日(水) 大洲市肱川公民館 午後1時30分～午後4時30分
	河 辺 支 所	4月10日(月) 大洲市河辺老人福祉センター 午前9時～正午
問い合わせ先 本所 TEL23-00313(代表、弁護士相談予約) TEL23-5629(相談室直通) 長浜支所 TEL52-1194 肱川支所 TEL34-2312 河辺支所 TEL39-2510		